校友時報

平成21年7月30日
編集人兼発行人
秋田県能代市高瀬2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所　有こんどう印刷

記念すべき50回目!!

能高祭の軌跡

七月四日、五日に、第五十回能高祭が行われた。今年度のテーマは「煌翼」。記念すべき第五十回目ということで、例年以上に盛り上がった能高祭であった。

四日には開催式、吹奏楽部による演奏、バンド演奏、中夜祭等が行われた。五日の一般公開では、多くの方をお客として迎え、各クラスの個性溢れるHRデコが人気を呼んだ。そして熱が冷めやらぬまま、後夜祭をもって幕を閉じた。

大いに盛り上がった吹奏楽部の演奏

第五十回能高祭はテーマ「煌翼」のもと、強い熱気に包まれて開催された。五十回目という節目の年を迎えた今年は、生徒の気合いの入り方が例年以上であり、それに見合う能高祭となった。

四日はまず、文化部の発表から始まった。演劇部による発表では、彼らの素晴らしい演技に注目が集まった。また音響等の細かな演出が、演技をいっそう高めていた。放送部は、アナウンス部門、朗読部門、テレビドキュメント部門の三つの部門から発表された。普段、昼の放送を行っている時とは一味違う彼女達を見られた。弁論部は、「日本は一院制にすべきか否か」というテーマで、先生方とディベートを行った。激しい言葉の戦いに、誰もが圧倒された。最後の吹奏楽部の演奏では、「銀河鉄道999」等が演奏され、会場は大きな拍手に包まれた。

昼の時間をはさんだ後、中夜祭が始まった。最初はクラス対抗のど自慢からで、多くの代表が『退場マン』によって連れていかれてしまった。続くMr・Ms能高の発表では、Mr能高に三Dの石田仁さん、Ms能高に加藤あさ美さんが選ばれた。中夜祭の最後の特別企画では、個性が溢れとても楽しめたが、中でも華麗なダンスを披露したSOS団では盛り上がった。中夜祭の責任者を担当していた三F梅田麻美さんは「出演者の方々に少ない時間での練習が強いられましたが、中夜祭は本当に盛り上がりました。私は当日、仕事でゆっくり見ることはできませんでしたが、司会の三人が頑張ってくれて感謝しています」と笑顔で語った。

このように、能高祭は一日目から非常にヒートアップしていた。二日目の一般公開を前に、全校生徒はまずこの一日で自分達の能高祭を楽しんでいた。いつ、どんな時でも生徒たちは皆笑顔であった。翌日の一般公開へと向けて、能高生は良いスタートをきった。

能高祭では、各クラスごとに三つの部門に分かれて準備・制作を行った。それは、HR部門、ムービー部門、新聞部門である。この三つの部門の責任者の方、また、能高祭全体のことについて生徒会長の平川信朗さんにお話を聞いた。

《HRデコ》

今年のHRデコは、縁日をテーマとした三Fの「JNJA☆祭JA☆参笑巫JA☆」がみごとに優勝を果たした。責任者であった三Bの森田星羅さんは、「どのクラスもクオリティがすごく高かったです。また、とても個性が溢れていて、どれも楽しいものばかりでした。準備の期間が短かったり、少々トラブルもありました。しかし、団結力で皆が一つとなることができました。そのおかげで、能高祭も大成功だったと思います」と語る。今年度のHRデコは、本当に大好評であった。

《ムービー》

ムービーの優勝は、三Fの「十分探偵」であった。冴え渡る探偵の推理が観客を引きつけた。当日は、ムービーは大人気で、視聴覚室はいつも満席であった。責任者の、三F森田翔都さんは「短い準備期間の中、どのクラスも頑張って良いムービーをつくってくれました。今年のムービーはユニークな内容のものが多く集まりました。また、パソコンが普及したからなのか、編集技術がアップしていたと思います。ただ、提出期限を過ぎてしまうクラスが多かったので、来年からは期限を守ってほしいです」

《新　聞》

新聞は三Aが最優秀賞であった。レタリングの技術はもちろんのことだが、取り上げた記事の内容やその中身の濃さが評価された。責任者を務めた三A中嶋優奈さんは「各クラスとも本当にいい出来で接戦でした。夕方に新聞制作の活動状況を知るために見回りしていると、進行が遅れていたり、思うように活動できていないところもありました。しかし、レベルの高い作品が集まりました」と話した。

《総　合》

総合優勝は、HRデコ、ムービーでも最優秀賞を受賞した三Fであった。最後まで非常に盛り上がった能高祭であった。全体の講評について、三C平川信朗さんは「当日はとても忙しかったです。情報がクラスに伝わりにくかったり、準備期間が短かったりもしましたが、五十回の歴史の中で一番の盛り上がりだったと思います。この点はさすが能高生と言わんばかりです。HRデコ、ムービー、新聞の各部門での活動の完成度も高く、二日目は一般公開で、多くの方々が能代高校を訪れた。

第一体育館ではまず、バンド演奏からスタートした。続いて吹奏楽部、演劇部が発表を行った。どれも見逃すことのできないもので、第一体育館から人が絶えることはなかった。

各教室でのHRデコでは、それぞれのクラスの個性が生かされていた。視聴覚室でのムービーは、力作がそろって大人気であった。また、各文化部でも催し物が行われ、日頃の活動の成果を発揮していた。

三時半から行われた後夜祭は、部対抗のど自慢から始まった。恒例の退場マンの活躍で会場は盛り上がった。それからバンド演奏の後、全校生徒はフォークダンスを楽しんだ。まさに、全校が一つとなった瞬間であった。

最後は、盛大な花火で後夜祭を終えた。能高生は皆、花火に心を打たれていた。こうして第五十回能高祭は、その幕を閉じた。

フォークダンスを楽しむ全校生徒

終始生徒の笑顔が絶えることのない能高祭となりました」と、非常に満足気な笑顔で語った。

能高祭を終えて

実行委員会　岩村　大地

大成功に終わった能高祭!!これは、能代高校生全校が一丸となって汗を流したからこそ、達成できたことだと感じる。今回は代表して、実行委員長さんに能高祭について振り返りをしてもらった。

硬式野球の応援に向かうバスの中、私は今、十日前の能高祭のことを思い出しています。今年の能高祭は第50回にあたる、特別なものだと言う人もいましたが、私にはしっくりきませんでした。今までの能高祭が凡庸なものであったわけではなく、毎年毎年が特別な能高祭だと思うからです。だから私は目標を「いつもどおりの特別な能高祭」と定めました。

そんな今年の能高祭を見ていて、目醒ましい進歩があったように思われる点が二つあります。一点目は、HRデコの一年生の台頭。ここ三年間で、限られたスペースを最大限に利用した美しい教室が増えたように感じます。教室のスペースは全てにおいて、一つ一つ当たり前の挨拶も、人との関わりにおいてとても重要なものである。

私たちは日頃から自分から気持ちの良い挨拶ができているのだろうか。そこで、毎朝昇降口に立って笑顔で挨拶をして下さる荒川先生にお話を伺った。

Q　先生が毎朝昇降口前に立っているのは何故ですか。

A　朝、登校してくる生徒に元気な声で挨拶をすると、生徒が気持ち良くなると思うからです。それから、生徒に笑顔で元気に挨拶をすると、生徒もそして俺も元気になるからです。

Q　朝、能高生を見ていて感じる良い点は何ですか。

A　一つ目は、私から挨拶をすると、必ず返してくれる点です。また、生徒の方から自主的に挨拶をしてくれることも多くなるので、そのような面においてはさすが能高生だと感じます。

二つ目は、整容面においてきちんとしていない生徒がほとんどいなくなった点です。

Q　挨拶をしているときに生徒に対して気がつくことは、ありますか。

A　いつも同じ生徒を見ているわけではないので、生徒一人一人の変化に気づくことはできません。しかし、元気のない生徒には声をかけるなどしています。それから、生徒が見ている参考書によって今日何の小テスト日か分かります(笑)

Q　ズバリ「よい挨拶」とは何だと思いますか。

A　笑顔で大きな声で元気でハツラツとした挨拶です。

誰にでも自分から挨拶ができるような人間になりたいものである。

真ん中にそびえる木などはなかなかの迫力でした。他のクラスも含め、二、三年生顔負けの技術に来年が楽しみです。もう一点は、MOVIEの技術。演技や笑いの勢いに加え、素晴らしい編集、映像技術が冴えました。

しかし、こういった技術面以上に能高祭に取り組む姿勢が印象的でした。今年はバンドの参加数が多い年でした。これは誰に言われ、やらせられるのでもなく、自分たちの意志によるものです。メンバーそれぞれが自分の好きなことに打ち込み、仲間を集めた主体性が表れです。また、クライマックスのフォークダンスは司会者の呼び掛けにより、多くの二、二年生が参加できました。この主体性、協調性が今後の能代高校を支える大きな原動力となる予感がします。

総合的に見て、今年の能高祭は成功であったかと問われると、私は自信をもって肯定できます。私事になりますが、私は部活動の終わりには涙を流すことを目標としていました。今年のフィナーレ、涙が出たかというと、とうとう出ませんでしたが、一日目の夜にフライングで半刻泣いてしまったので、それだけ夢中にさせてくれる能高祭だったのだと思います。一、二年生は、今年の能高祭を見倣いつつ、各部門で生じた課題を克服し、一年後、二年後に更に良いものを作り、終わったときに悔いを残さずにいられることを祈ります。

最後に、今年もまた一つの「特別な」能高祭を築いてくださった責任者、全校生徒、教員の皆様に心から感謝して終わりとします。

能高生の朝をみつめる

「挨拶」それは全てにおいての基本である。「おはよう」「こんにちは」「さようなら」などのごく当たり前の挨拶も、人との関わりにおいてとても重要なものである。

私たちは日頃から自分から気持ちの良い挨拶ができているのだろうか。そこで、毎朝昇降口に立って笑顔で挨拶をして下さる荒川先生にお話を伺った。

Q　先生が毎朝昇降口前に立っているのは何故ですか。

A　朝、登校してくる生徒に元気な声で挨拶をすると、生徒が気持ち良くなると思うからです。それから、生徒に笑顔で元気に挨拶をすると、生徒もそして俺も元気になるからです。

Q　朝、能高生を見ていて感じる良い点は何ですか。

A　一つ目は、私から挨拶をすると、必ず返してくれる点です。また、生徒の方から自主的に挨拶をしてくれることも多くなるので、そのような面においてはさすが能高生だと感じます。

二つ目は、整容面においてきちんとしていない生徒がほとんどいなくなった点です。

Q　挨拶をしているときに生徒に対して気がつくことは、ありますか。

A　いつも同じ生徒を見ているわけではないので、生徒一人一人の変化に気づくことはできません。しかし、元気のない生徒には声をかけるなどしています。それから、生徒が見ている参考書によって今日何の小テスト日か分かります(笑)

Q　ズバリ「よい挨拶」とは何だと思いますか。

A　笑顔で大きな声で元気でハツラツとした挨拶です。

誰にでも自分から挨拶ができるような人間になりたいものである。

涌点

「彼は世界への贈り物だった。太陽だった。明日、地球が回らなくなっても驚かないよ。」

ウィル・アイ・アム（R&Bシンガー）がマイケル・ジャクソンの死を悼み、捧げた言葉だ。

マイケルは私たちが幸運にも目にすることができた、最高のエンターティナーだった。我が家のビデオデッキの横にはいつもマイケルのビデオテープがあり、兄姉と一緒に華麗なダンスを何度も繰り返し観た。母はマイケルのコンサートに行き、小指にも満たないマイケルに熱狂したという。

世界のスーパースターは、日本の田舎の小さな家庭でもスーパースターだったが、アフリカ系アメリカ人社会においてのマイケルの存在の大きさは、我々には想像できない。

マイケルが活躍したおかげで司会、モデルにも黒人が進出でき、アフリカ系アメリカ人社会にとってマイケルは、この上ない誇りとなった。

だが人気が高まるにつれ、マイケルの行動は、とっぴなものになり、変化した外見は、自らの歴史を否定しているようにも見えた。そんなマイケルを同胞らは、白人社会がそうさせたと言い、自分たちのマイケルを取り戻したいと嘆いている。

私と家族がマイケルを思い出す時、幼い頃の我が家を想うのと同様に、アフリカ系アメリカ人にとってマイケルは、自分たちの家族、家庭そのものだ。昔のマイケルを求める気持ちは痛いほどわかる。

私と家族のお気に入りのアルバムもやはり「オフ・ザ・ウォール」(79年)である。

合掌

新体制で臨む

いざ!! 悲願の勝利へ向けて!!

◆硬式野球部
2E 長岡 聡紀さん
三年生が引退し、自分たち二年生が中心となり、三年生にできていた事が自分たちにはまだ全てできるわけではありません。三年生に追いつき追い越すために、一人一人が本気になり、野球にかける思いを態度に出し、一丸頂点をつかみとります。

◆軟式野球部
2D 伊藤 洪太さん
軟式野球部は県大会を勝ち抜き、北東北大会への出場を果たしました。未だ三年生中心のチームですが、今後も北東北大会で優勝し、明石へ行きたいと思います。三年生引退後の二年生中心となるチームでは、今年度以上の実力を備え、明石出場を目標に頑張っていきたいと思います。

◆男子バスケットボール部
2C 中山 琢斗さん
三年生がいなくなり、戦力的に落ちました。また、他のチームよりサイズがないので「速攻とディフェンス」を徹底してこれからの練習を頑張りたいと思います。また、三年生の「県北二位」をまずは県北新人で達成できるように頑張りたいと思います。

◆女子バスケットボール部
2A 工藤 瞳子さん
今年は二十五人という大人数ですが、みんなで一つにまとまり「自分たちで考えるバスケ」を目指して頑張りたいと思います。県北新人では一人一人の力を十分に発揮して、優勝を目標に自分たちのバスケットをしていきたいです。

◆男子バレーボール部
2B 須藤 修平さん
男子バレーボール部は今はまだ弱いチームですが、限られた練習時間の中で集中して練習し、力をつけていきたいと思います。この前の大会の金足農業戦では、悔いの残る試合となってしまったので、次はいい試合ができるようにバレー部全員一生懸命がんばります。

◆女子バレーボール部
2E 成田 美穂佳さん
私たち女子バレーボール部は、人数が少なく練習も限られた時間しかできませんが、二年生を中心に毎日の練習を頑張っています。キャプテンとしてしっかりチームをまとめることができるか不安はあるけど、自分のできることは精一杯頑張りたいと思います。

◆男子テニス部
2E 信田 将志さん
僕達は「いかに観客を沸かせられるか」というところを大切にしています。勝利を目指す上でも「見せるテニス」にこだわり、日々の練習も考えて取り組んでいこうと思います。チーム一丸となり来年の沖縄インターハイ出場を必ず実現するために、自分に厳しく努力していきます。

◆女子テニス部
2A 福田 円香さん
三年生引退後、初めのうち感じられた寂しさも、今では部員全員が「団体全県優勝」という目標に向かい、日々の練習に励むことで薄らいできました。今後より一層チームの団結を深め、目標達成の為努力していくので、応援よろしくお願いします。

◆陸上競技部
2D 藤田 金吾さん
新チームは、新人戦に向けて一人一人が目標を持ち、日々の練習に取り組んでいます。今年の三年生が果たすことのできなかった東北大会、そしてインターハイの出場ができるように今後の練習に集中していきたいと思っています。

・ソフトボール
一位 三年E組
・ソフトテニス
（ソフトテニスは一クラスから2ペアとも入賞した場合はクラスに重複して得点が入る）
一位 三年E組
・リレー
一位 三年B組
・綱引き
一位 三年D組
・シャンピング
一位 二年D組

◆サッカーボール部
2D 佐々木貴幹さん
新人戦は、新チームになってからの初めての大会なので、技術がない分、チームワークでカバーし、チーム一丸となって先輩たちが残したベスト8という記録を越えれるよう頑張りたいです。そのため、「つなぐサッカー」を目指したいです。

◆卓球部
2B 貝立慶駿介さん
僕たち卓球部は新体制となってから新人戦へ向けて練習を頑張っています。団体戦は県北ベスト4以上、全県ベスト16以上に入れるように、一打一打を大切にしながら、チーム一丸となってこれからも毎日の練習にはげみたいです。

◆剣道部
2D 船本 和久さん
部で一丸となって、三年生がいたころよりもさらにチームワーク良く、大会でも上位にいけるように頑張りたいです。新人戦では県北で優勝し全県ベスト4以上、東北でも勝ち上がっていけるように部員皆で高め合っていきたいです。

◆空手道部
2C 渡辺 昂さん
新チームになった今、空手道部には経験者がいません。そんな逆境の中、共に鍛え合い競い合い励まし合いながら練習に臨みたいと思います。また、個人と団体があるため個人で力をつけつつ団体で力を発揮し、新人戦優勝したいと思います。もちろん個人でも優勝を狙います。

◆柔道部
2B 近藤 優介さん
三年生が抜け、新チームになった今部員も十一人から六人と少なくなってしまいました。他チームに比べて体重も平均するとかなり軽いですが、パワー、技術、精心力を鍛え上げてどんな相手にも勝ちに行くチームになりたいです。そして新人戦では優勝して日本武道館で試合できるように頑張ります。

◆水泳部
2A 渡辺 愛さん
今まで先輩たちに頼っていた部分が多かったので、これからは二年生が率先して水泳部を盛り上げていきたいです。新人戦では、一人一人が目標に向かって全力でレースをし、悔いの残る結果とならないように全員で頑張ってきます。これからも応援よろしくお願いします。

◆山岳部
2C 飯坂美乃里さん
私たちの部活は三年生が一人しかいなかったので、新体制といってもそんなに変わりません。今まで通りに部活を続けていきたいと思います。新人戦では抜群のチームワークで男女共に優勝してきたいと思います。ちなみに、部員募集中です。

◆無線部
2A 田代 瑞葉さん
三年生が引退し部員が二名となった無線部は、全日本大会での入賞を目標に練習に励んでいます。全国、世界大会で活躍してきた先輩の成績を追いこせるよう、一つ一つの大会や練習を大切にし、技術体力の向上を目指したいと思います。

◆体操部
1D 平塚 喜節さん
三年生が引退し、体操部は一年生一人になってしまいましたが、練習では一つ一つの動作が美しくなるように集中して取り組んできました。大会ではミスをなくし、見ている人に感動を与えられるような演技をしたいです。

一致団結！ 白熱した体育大会

今年度の体育大会は、六月二十三・二十四日に行われた。学年に関係なく出場している人も応援している人も頑張っていた。怪我をする人はいなかったが、日頃の練習がひびき、本番で支障が出てしまった人もいたようだ。三年生ももちろん盛り上がっていたが、一・二年生も負けてはいなかった。

しかし、三年生は最後の体育大会ということで、他の学年よりも大きな団結力を見せつけていた。特にリレーでは、選手たちに向けての応援が燃えていた三年生が多く、今年の体育大会がこのような盛り上がりを見せたのも三年生をはじめとする全校生徒の満足度も高かったからだろう。

一年生ながらも女子バレーボールで奮起していた一年E組の担任である一ノ関先生に話を伺ったところ、「経験者もいて、一人一人のレベルが高かったな。見ていてすごく安心したし、負ける気がしなかった。選手たちも試合を重ねるごとに応援スタイルを進化させ、わたしの予想を越えた結束力を見せてくれた。

このバレーの試合を通してクラスの輪が深まった気がする」と話してくれた。

《総合結果》
一位 三年D組
二位 三年B組
三位 三年E組
総合優勝した三年D組の担任である田口純子先生は「去年は綱引きで優勝していたので、連覇を目指して団結していました。それに合わせて他の種目でも、頑張ることができたと思います。本当は皆で応援をしたいのですが、競技が重なってしまって、一緒に応援できないことが残念でした。

勝つためには、クラスが一つになっていること、クラスのつながりが大切だと思います」と語ってくれた。

《各種目の結果》
・バスケットボール
男子一位 二年D組
女子一位 二年C組
・ハレーボール
男子一位 三年C組
女子一位 三年A組
・サッカー
一位 三年E組

臓器移植法改正へ「脳死は人の死」

二〇〇九年七月十三日、臓器移植法の改正A案が成立した。この法案の最大の特徴は「脳死は人の死」とする考えを前提に作られている点である。成立したことについては賛否両論で、今大きな話題となっている。

脳死と植物状態の違いは「脳幹」にある。植物状態は脳幹が生きているが、脳死では脳幹が死んでしまっているのだ。植物状態の場合大脳と小脳は死んでいても、自分で呼吸もできることが多く治る可能性もある。対して、脳死の状態では脳全ての働きがなくなってしまう。そのため現代の医学では一度と元に戻らず、人工呼吸器がないと呼吸ができない。人工呼吸器をつけていれば、心臓は動くことはできるがその状態も現代では長い間保つことができないのである。そのため脳死は人の死とするのかについて議論が行われてきた。

A案と現行法の大きな違いはこの「脳死」を「人の死」と位置づけた点である。また、A案では〇歳から十五歳までの臓器提供を新たに認め、国内での子供の臓器移植の道を広げている。

改正案は国会への提出順に、A案と、移植可能年齢を十二歳以上に引き下げるB案、脳死判定基準を厳格化するC案、十五歳未満からの臓器移植を家族の承諾などで可能とするD案があった。しかし最初のA案が可決されたため、残る三案は採決されなかった。

A案が可決された瞬間「やった！」と声をあげる賛成派、落胆する反対派、泣き崩れる遺族など様々だった。臓器を提供してもらわないと生きられない子供もいる中で、これからA案はどう実施されていくのだろうか。その動きに注目が集まっている。

編集後記

夏の校友時報、お楽しみいただけたでしょうか。今回は新入部員四人を迎えての初めての新聞発行となりました。早いうちから発行に向けて取り組んでいたつもりでしたが、効率よく活動することができず、予定よりも発行が遅れてしまいました。次は反省点を生かし、また素晴らしい新聞を作っていきたいと思います。最後に、発刊にあたって協力して下さった先生方、多くの部活動の部員のみなさん、ありがとうございました。

THANK YOU ジェイ!!

ジェイ先生

昨年7月にＡＬＴとして本校に来た南アフリカ出身のイェルマイヤー・グローブラー（ジェイ）先生は、7月28日より、能代北高校常勤となり、本校には週に一度の来校となる。そのため、ジェイ先生にインタビューを行い、能代高校生へのメッセージを書いていただいた。

Q1 How long have you stayed in Noshiro?
（能代に来てどれくらいですか。）

A 1 year now.
（現在で一年になるよ。）

Q2 What's your impression of Akita?
（秋田の印象はどうですか。）

A I really like it - it is very beautiful. I wish there were more young people. They are all in the cities.
（秋田は大好きだよ。とても美しい。秋田にもっと若者がいたらいいのになぁ。若者は大都市に行ってしまうから。）

Q3 How did you feel when you experienced too much snow in Noshiro?
（雪の多い能代を体験してどうでしたか。）

A Very cold ! I like snowboarding, but the winter was freezing.
（とても寒かったよ！　僕はスノーボードが好きなんだけど、冬はブルブル凍えていたよ。）

Q4 What Japanese culture are you interested in?
（日本の文化で興味のあるものは何ですか。）

A I like manga and anime. I enjoy watching sumo. I am also very interested in learning martial arts.
（マンガとアニメが好きだよ。相撲観戦も楽しいよ。また、格闘技を習うこともとても興味があるんだ。）

Q5 I heard you learn AIKIDOU, please tell me more.
（合気道をやっていると聞いたのですが、それについて教えて下さい。）

A I learn "laido" - it is a sword style a bit like kendo. I am 1st Dan now, I want to get 3rd Dan before I leave.
（刀を使った、剣道に少し似た居合道という武道をやっているよ。今は初段だけど、日本に居る間に三段を取りたいと思っているよ。）

Noshiro Koko students

Noshiro Koko students are very genki and a lot of fun to teach. They have a good sense of humour and work very hard! Good lucle!

(4)